

小国地区イメージキャラクター「おぐに丸」誕生しました！

小国地区振興協議会と広島大学は、広島大学地域連携推進事業の一環として、小国地域の将来のまちづくりに資する情報集約を目的として「おぐにまるわかりガイドBook2017」の作成を進めてきました。事業の中で、広島大学生がとても親しみやすいキャラクターを誕生させてくださったので紹介したいと思います。

(おぐに丸は、小国地区のイメージキャラクターとして、2018年4月20日の小国地区振興協議会 理事会にて承認されました)

なぜ「小国おぐに」と呼ばれるようになったのでしょうか・・・???

奈良時代朝廷で天皇の側近として仕えていた和気清麻呂公は、姉広虫と共に朝廷に永く仕え、称徳天皇後継問題や平安遷都等に大きな功績を遺しました。和気氏は小国や世羅備後・備中・備前・美作地域にも広く開田と社寺を作っています。

宝亀四年(773年)備後国世良郡篠(大和町篠)に宇佐神宮分霊や寺院を祀り、男小国丸しょうこくまるを田夫職神職に任じました。小国丸しょうこくまるが土居井上山(現潮音寺裏山)に拠点をおき新田開発をすすめ、開いた者にその土地を分け与える「墾田永年私財法」を広めたことから地名を「小国おぐに」と呼ぶようになったと言われています。

(参考：和気家文書)
(原稿提供：文化財協会 山下)



はじめまして！
ぼくの名前は「おぐに丸」です。
どうぞ、よろしくお願いします。
広島大学のおにいさん、おねえさんが、
ちよつと、おしゃれな感じで、ちっちゃくてか
わいいオジサン風のぼくを作ってくれまし
た！
身体全体が小国愛であふれています。
これからは、小国のPRを頑張っていくので、
一緒に応援してね！

【キャラクターデザインコンセプト】

- ・小国の文字を表す
- ・当時の人々をイメージ
- ・小国の豊かな自然(緑)
- ・親しみやすさ